

地方会議（鹿児島県鹿児島市）

1. 日時、場所

平成24年5月27日（日） 14時～16時

鹿児島市役所みなと大通り別館 ソーホーかごしま会議室

2. 参加者

地元の若手・女性の中小企業経営者等 100名

3. 参加者の意見

（1）出された意見数（課題別）

全体意見数	40
資金調達	0
経営指導・経営支援	18
技術力・人材（技能承継等）	1
取引関係（下請取引・流通構造等）	1
販路開拓（海外展開等）	1
若手・青年層の活力発揮	5
女性層の活力発揮	5
「地域」の中の中小・小規模企業（商店街等）	4
その他	5

（2）主な意見

【経営指導・経営支援】

- ・ 建設業界は、公共事業の減少、過当競争による受注単価の低下で採算悪化が進み、金融円滑化法で持ちこたえている状況。再延長を望む。
- ・ 経産省の開発系の補助金は自動車などに限られているが、地場産業向けの開発補助金があれば、地域ブランドも活性化するのでは。
- ・ 施策は、効果をしっかりと検証することが大切。省庁縦割りではなく、横串を刺して、単年でなく継続性のある政策を求める。

【技術力・人材（技能承継等）】

若者、女性層の活用も大事であるが、逆転の発想で、技術を持っている人とアイデアを持っている企業をマッチングするなどすれば新しい産業が生

まれるのではないか。

【販路開拓（海外展開等）】

- ・ 中国による「ぬけがけ商標登録」に対する民間企業の異議申し立て申請を経産省がきちんと把握し、支援する仕組みを求める。

【若手・青年層の活力発揮】

- ・ 最近、若者の働く意欲が低い。中高生の頃から、働くことの意義、大切さを学び、使命感を養う場が必要。
- ・ 補助金をもらいたくても、知識不足のため、先輩方が実際にどのような使い方をしたかを教えてもらえるような知識サポートがあるとよい。

【女性層の活力発揮】

- ・ 女性が社会に進出するためには、待機児童問題、病児保育などが必要。
- ・ ここ最近、学生と面談すると、男性より女性の方が元気があるように感じる。女性社員が出産後も戦力として戻ってきて欲しいと思っている。

【「地域」の中の中小・小規模企業（商店街等）】

- ・ 商店街は、テナントリーシング力やタウンマネジメント力が弱いので、人材育成に対する支援を望む。
- ・ 個店の魅力アップが不可欠であり、支援もお願いしたい。
- ・ 商店街の一番の問題は後継者不足。相続税等の問題もあるため何とかして欲しい。

【その他】

- ・ 企業は、社長が変われば変わることから、社長自身の成長が不可欠。
- ・ 円高・税金・関税の三重苦をなんとかしてほしい。